

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 411

政策体系	23	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 農政課
会計	一般会計	科目	6. 農林水 - 1. 農業費 - 4. 畜産業 現年		
事業名	畜産振興事業				
細事業名	南丹地域資源循環型農畜産物生産モデル実証事業				
評価表作成者				農林商工部 農政課	寺田 利裕

## 1. 事業の概要

実証事業として、飼料用米（モミロマン）の生産、養鶏への給与をモデル的に実施する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

南丹ブランド「ほんまもん」をつくる事業。  
飼料用米（モミロマン）の生産、給与の実証を行い、資源循環及び地産地消による飼料自給率向上を目指す。

### ② 事業を実施する必要性

農林水産省として飼料用米の生産が進められている中、今後の生産に向け、実証を行うことは必要である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円			250	250	0	250	250
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円			0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円		250	250	0	250	250
	地方債	千円		0	0	0	0	0
	一般財源	千円		0	0	0	0	0
職員等の従事人員	人/年	—		0.05	0.07			
人件費	千円	—		254	434			
事業費総額	千円	—		504	684			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

南丹地域資源循環型農産物モデル実証事業  
210,000円(実証事業委託料)  
40,000円(推進事業費)

## 5. 事業結果の概要

飼料用米（モミロマン）生産 5～10月 32.43a  
飼料用米（モミロマン）給与 11～12月 常時4,223羽  
飼料用米給与による畜産物のアンケート 1～3月 6件

## 6. 活動の詳細

(1) 飼料用米（モミロマン）生産		
事業圃場として飼料用米の栽培、圃場の管理等 32.43a。食料水稻との栽培比較	5月～10月	32.43a
(2) 飼料用米（モミロマン）給与		
常時4,223羽に給与。飼料用米なしの飼料での飼養鶏との生育比較。	11月～12月	4,223羽
(3) 飼料用米給与による農畜産物アンケート		
食肉小売業者、飲食店へ飼料用米給与による農畜産物アンケートを実施	1月～2月	6検体
(4) 調査結果取りまとめ		
調査結果の取りまとめ	3月	1式

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

飼料高騰に起因する飼料用米の生産、鶏への給与をモデル的に実施し、鶏肉の小売業・卸売業の企業6社にアンケート調査を実施し出荷肉に及ぼす影響について検討を行った。今後の飼料用米推進を図っていくうえでの課題を確認することができた。平成22年度で事業終了。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成22年度の所属長評価

飼料高騰に起因する飼料用米の生産、鶏への給与をモデル的に実施し、今後の飼料用米推進を図っていく。

#### ■平成21年度の所属長評価